

臨床獣医師の皆様へ

留萌家畜衛生だより

号外（令和3年6月発行）
北海道留萌家畜保健衛生所

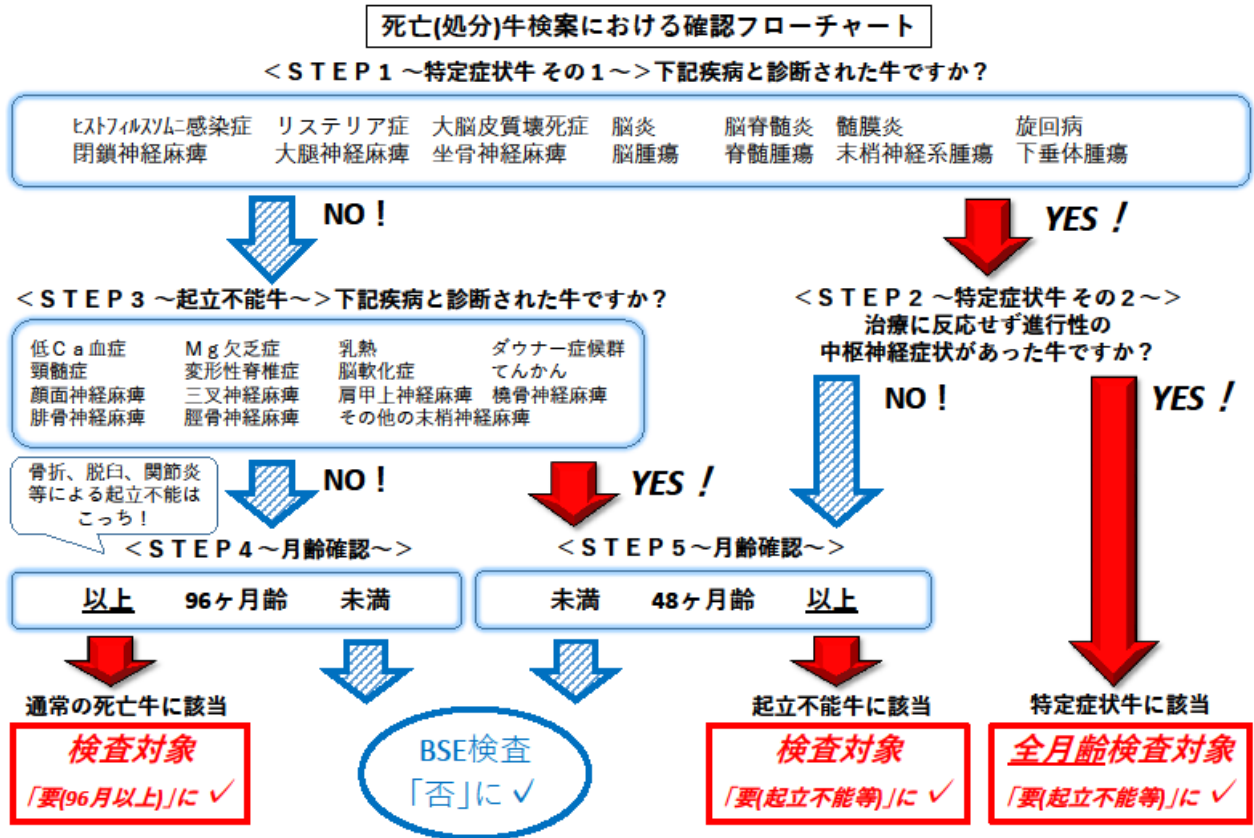
1 病性検定の依頼について

- ☆ 事前の連絡をお願いします
- ☆ 検体の詳細（個体識別番号など）及び経過、症状等が分かる書類を添付してください
- ☆ 検査目的、検査項目によって、必要な材料が異なります
下表を参考に材料採取を行い、出来るだけ速やかに搬入してください

	搬入材料	採材道具	採材量・頭数	採材方法・注意点	
目的別	呼吸器病原因	鼻汁・目脂	綿棒 ①ウイルス用 ②細菌用 ③マイコプラズマ用 3本／1頭 集団発生の場合は複数頭（5頭くらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・採材は、治療前の発症初期が望ましい ・鼻鏡、鼻腔をアルコール綿花で拭き、なるべく鼻の奥から採材 ・綿棒の乾燥に注意！保存には、PBS、滅菌生理食塩水等に浸した状態か保存液入りの市販綿棒を用いる 	
		血清	採血管（フレイ）	<ul style="list-style-type: none"> ・抗体検査用 ①前血清（発症期） ②後血清（約3週間後） 	
		直腸便	直検手袋等	10g以上（拳大） ・牛肺虫、サルモネラ・ダブリンの検査用	
	下痢原因	直腸便	直検手袋等	ピンポン玉大 ・採材は、治療前の発症初期が望ましい ・肛門付近を清拭し、汚染がないよう採取	
	流死産原因	胎子		*胎子は必須 ・集団発生の場合は複数頭	<ul style="list-style-type: none"> ・腐敗・融解していても病理学的検査が可能な場合あり
		胎盤			
	母畜血清	採血管（フレイ）	1mL以上 ・可能であれば、流産歴のある同居個体からも血清を採取		
疾病別	牛ウイルス性下痢（BVD）	血清	採血管（フレイ）	3mL以上 ・6か月齢未満の場合は全血が必要	
		全血	採血管（EDTA）		
	牛伝染性リンパ腫	血清	採血管（フレイ）	1.5mL以上 ・抗体検査は6か月齢以上 ・白血球百分比 採材当日に搬入できない場合は、血液塗抹標本（2枚）を添付 ・遺伝子検査は全血が必要	
		全血	採血管（EDTA）		
	ヨーネ病	血清	採血管（フレイ）	1mL以上 ・抗体検査は6か月齢以上	
		直腸便	直検手袋等	親指大以上 ・遺伝子検査用 肛門付近を清拭し、汚染がないよう採取	

2 BSE 検査室より

☆ 死亡牛のBSE 検査対象月齢について、今一度、確認をお願いします



☆ 死亡獣畜処理指示書は記載漏れがないように作成をお願いします

死亡獣畜処理指示書 獣医師用

発行番号		所有者 (管理者)		住所 市・町 村		氏名	
畜種	乳用牛・肉用牛・馬・豚・めん羊・山羊			生年月日 (又は月齢)	20 年 月 日 (月齢)		
名号及び品種	♂・♀ 去勢			総体重	kg (死亡獣畜の合計頭数)		
共済関係	加入	未加入	病名又は死因	死亡年月日	20 年 月 日 分	区	死亡
上段に共済加入番号、下段に個体識別番号を記載する				特定臨床症状	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	BSE検査	<input type="checkbox"/> 要(96月以上) <input type="checkbox"/> 要(起立不能等) <input type="checkbox"/> 否
(指示及び特記事項)				(3) 処分			
1 腐敗状況 (軽度・中度・重度) 2 抗生物質等の出荷制限 (未使用) 3 処理に関する指示事項 (1) 死体処理先 () (禁放血死・その他) (2) 死体処理方法 (解体・その他) 4 その他 ()				BSE検査の要否は獣医師の診断・届出が必要			
上記のとおり死亡獣畜の処理を指示する。				住所(又は所属団体)			
発行年月日 20 年 月 日				獣医師氏名			
				連絡先電話番号 ()			